

1. 件名：実施計画の審査の進捗状況等に係る面談
2. 日時：令和2年1月17日（金）13時30分～14時55分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
竹内室長、澁谷企画調査官、林田管理官補佐、佐藤係長、
松井安全審査官、山中審査係、田上審査係
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当者 2名

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、資料に基づき以下について説明があった。
 - 東京電力福島第一原子力発電所の中期的リスクの低減目標マップ（以下「リスクマップ」という。）に掲げる事項の検討状況について
 - 第77回特定原子力施設監視・評価検討会（以下「監視・評価検討会」という。）資料（資料1-2）の修正について
 - 実施計画変更認可申請の状況及び今後の申請予定について

- 原子力規制庁は、上記の説明を確認するとともに、実施計画の変更認可申請に係る状況等について東京電力と認識を共有し、以下のコメントを伝えた。
 - 第9回東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会で示した、3号機原子炉建屋における梁の損傷について、これまでの耐震性評価への影響について確認し、結果を説明すること
 - 監視・評価検討会資料の誤記については、今後同様な事例が起きないように注意すること

- また、東京電力から今後の監視・評価検討会の議題について相談があり、原子力規制庁は、以下のコメントを伝えた。
 - 廃炉推進カンパニーの組織の体制強化について、令和2年1月16日の原子力規制委員会臨時会議の内容を踏まえ、人員配置等説明すること
 - 3号機使用済燃料プールからの燃料の取出しについては、令和2年度内に終了するとしているが、全体工程を説明すること
 - 敷地全体のモニタリング方針の検討状況について、排気筒周辺のサブドレンピット及び下部透水層におけるトリチウム検出事項も含め説明す

ること

- 除染装置スラッジ移送装置の品質・調達管理について、現在の対応及び進捗状況を年度内に説明すること
- 放射性固体廃棄物の保管・管理施設やその計画に関して、説明すること
- リスクマップにおける今年度完了予定の案件について、状況を説明すること
- 次回以降の監視・評価検討会における傍聴者用資料の扱いは、令和元年12月に示された「原子力規制委員会における省資源化の取り組みについて」に準拠する予定なので、理解・協力をお願いしたい

○東京電力から、コメントについては適宜検討及び対応する旨、回答があった。

6. 資料

- 実施計画変更認可申請の状況および今後の申請予定
- 特定原子力施設監視・評価検討会 資料の訂正について
- 東京電力福島第一原子力発電所の中期的リスクの低減目標マップ（2019年3月版・東京電力一部追記）
- 3号機T/Bサービスエリアモルタル流入事象に伴う1～4号機滞留水移送装置追設工事への影響について
- 1号機燃料取り出しプランの検討状況について
- 1号機飛散防止剤散布実績及び予定 3号機オペレーティングフロアの連続ダストモニタの計測値
- 燃料デブリ取り出しの検討状況について

以上